



第50卷 第2号

史学・地理学・考古学

惣村の起源とその役割（上）……………三浦圭一（1）

多肥集約化と小農民経営の自立（下）……………高沢裕一（32）

均田法における受田と賦課に関する一考察……………西村元佑（66）
——敦煌計帳戸籍の受田缺少と丁男の位置——

「露・独再保障条約」不更新問題の再検討……………岡部健彦（97）

研究ノート

民本主義の誕生……………宮本又久（131）
——浮田和民を通じて——

資料紹介

韓国江原道襄陽郡出土細形銅劍・
細文鏡について……………金元龍（150）

紹介

朝鮮史入門 高野山大学論叢

学界消息

史学研究会

京都大学文学部 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部
国語学国文学研究室

坂東本教行信証の史料科学的研究 古田 武彦
善宗本「御伝鈔」について 名畑 崇
阿弥陀堂建築について 藤島 達郎
〈特別講演〉

中世社会における聖の意義 黒田 俊雄

大塚史学会 一九六六年度大会

昭和四一年一月二六日・二七日
於 東京教育大学

二六日 大会シンポジウム 共通テーマ「東ア

シア前近代における国家権力と農民」
宋代における国家権力と農村——水利問題を
通じて——

長瀬 守
中世成立期における国家権力と村落
島田次郎・高田実

二七日〈日本史部会〉

日本における石炭産業の成立過程 橋本 哲哉
幕藩体制下における江川家の動向 高橋 敏
近世清水湊周辺村落の構造 吉原健一郎

中世末真宗教団の本末関係 新行 紀一
古代東国の仏教と観音像造立 早川 征子

「宮寺三綱都維那尼内」について 須田 春子
大王・大連・大臣三者 大畑 正一

〈東洋史部会〉

三國魏の屯田をめぐって 飯田 国雄

唐宋時代の「社」について 相田 洋

ゲザル王の物語とボン教 光島 督
中国共産党と農民問題 栃木 利夫
商鞅爵制の一問題 千葉 茂雄
河西王国の性格、特に前涼を中心として 後藤 勝

宋代の鄉村統治——治安維持の場合—— 渡辺 頼房

古ジャワ史料から見た元 (Yuan) のジャワ 仲田 浩三

進討 榑木野 宣

清代部院大臣の滿漢併用について 宮原 兎一

李朝後期実学の研究動向 岡本 敬二

元代の農村 〃

〈西洋史部会〉

ヴァイマル共和制期におけるドイツ共産党に
ついての一考察——統一戦線不成立の原因
を中心に——

井代 彬雄

ジョージ三世論——King史観とNationalism 穂積 重行

使徒パウロの皇帝「上訴」 弓削 達

ヨーロッパの旅——若い女性の視角—— 岡本苑子・後藤江恵子

〈考古部会〉

松戸市殿平賀貝塚の調査 村上 俊嗣

根室市、温根元遺跡の調査 前田 潮

六月例会予告

日時 六月三日(土)午後一時出発
見学会 ふすま絵観賞

大徳寺聚光院——西本願寺書院——大
覚寺(バスにて巡回)

臨地講師 武田恒夫氏

本例会に限り参加会費 三〇〇円

※参加御希望の方は、会費を添え
て当会宛お申込下さい。先着五〇
名にてメ切。

史 林 (第五〇巻第二号)

一九六七年二月廿五日印刷 定価三〇〇円
一九六七年三月一日発行

発行人 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内
史 学 研 究 会

理事長 小 葉 田 淳
振替京都五一五五番

印刷所 京都市下京区西七条御所ノ内町五〇
中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. L, No. 2

March, 1967

CONTENTS

Articles :

- Origin of Sôson 惣村 and its Role.....*K. Miura* (1)
- Poly-manure Intensification and Independence
of Petty-peasants' Management (2)*Y. Takazawa* (32)
- Reception and Imposition in the
Chün-T'ien Law 均田法 *G. Nishimura* (66)
- Eine Wiedernachprüfung über die Nichterneuerung des
Rückversicherungsvertrages von 1890 *T. Okabe* (97)

Notes :

- Birth of Democracy.....*M. Miyamoto* (131)
- A Bronze Dagger and Mirror
from Yang-yang, Korea.....*Kim, Won-yong* (150)

Book Reviews and news

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan